

いざというときの備えを

～立派だった垂直避難～

5月29日(金)、地震を想定した避難訓練を実施いたしました。

地震が発生したことを放送で知らされた子どもたち。直ちに机の下にもぐります。大事な頭が机の外に出ないように気をつけ、また机の脚をしっかりと持ち動かないようにして身の安全を確保しています。

再び放送が流れ、「3階の廊下に避難してください」と伝えられました。子どもたちはさっと並び、合言葉の“おはしも(おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない)”を心がけながら素早く3階へ向かいます。訓練と言えども、どの子も顔つきは真剣です。避難し始めてわずか1分20秒で3階の集合場所に全員避難することができました。

この日は、防災士であり、本校の学校運営協議会委員でもある田邊政美さんにお越しいただき、子どもたちの避難の様子をご覧いただきました。田邊さんから「避難の仕方が大変良かったです」と、子どもたちにお褒めの言葉をいただきました。さすが、すべきことに真摯に向き合い、きちんと取り組める大田っ子たちです。

今回の訓練では、垂直避難を行いました。学校によっては、運動場に避難するところもあります。しかし、本校は付近に金谷池があり、万が一地震で決壊してしまうと、ハザードマップにもありますように、7分後には小学校に水が到達すると予想されています。そこで、水が流れてきてもより安全を確保できる垂直避難を行うことにし、田邊さんとの打ち合わせでも、垂直避難がよいだろうというご助言をいただきました。

また、田邊さんから、地震が発生したら「窓から離れること」や防災対策として「棚が倒れないように固定しておくこと」「揺れで扉が開かないように、ストッパーをかけておくこと」「寝室には懐中電灯とガラスを踏んでもけがをしないためのスリッパを置いておくこと」等、日常生活に活かせる対策も教えていただきました。

地震は時と場を選びません。だからこそ、いつどこで地震が発生しても、自分の命を守る術を身につけておくことが重要です。ご家庭でも在宅中における避難方法をぜひご家庭で確認し、また、日頃の備えも確実にし、かけがえのない子どもさんの命、ご家族の命を守っていただきたいと思います。

体力づくりに励んでいます

～フィジカルトレーニング～

毎週火曜日、8時20分より、体力づくりのためのフィジカルトレーニングを行っています。天気の良い日は外で一輪車に、雨天の時には体育館で別メニューに取り組みます。先日は雨天だったため、体育館でのトレーニングを行いました。トレーニング内容は、ジャンプ力や瞬発力を高める垂直飛び、敏捷性を高めるラダートレーニング、投動作を習得するフォームロケット投げ、下半身の筋力を鍛える反復横跳び



です。

ラダートレーニングでは、床に3つのはしご状の用具が置かれています。その上を一人ずつ、一マスずつ片足を入れながらできるだけ素早く足を動かして移動しています。初めて挑戦する1年生も、見よう見まねで頑張っています。



このように、全校児童が気持ちをひとつにして体力向上に励んでいます。

～別府事務所訪問がありました～

5月22日(水)、別府教育事務所による学校訪問があり、各教室の子どもたちの学習の様子をご覧いただきました。

最近では教師がICTを活用する授業が珍しくなくなり、この日も、遊び方をわかりやすく説明するために、説明する文章の構成をiPad上で操作しながら考える等、複数の教室でICTを有効に活用した授業をご覧いただきました。そのような中で子どもたちが意欲的に学習に取り組む姿があり、子どもたちの真剣な姿や教師の工夫された授業をお褒めいただきました。

